

兇劍

伍

下卷

やまぐちしんじ



前戯

『るる剣』ファンの皆さんこんにちは。

剣心と薫の恋時代シリーズ第五弾下巻！一見シリーズなナレーション入りのあらすじは笑うところ。

今回のネームも前回以上に、どうやってまとめようか、かなり難航した。

描きたい事……というか、やらせたい事(笑)が沢山ありすぎて、中編・後編にしようかとも考えたのだが、既に表紙は入稿済み……。締めが肝心と、なんとか力技で後編をまとめしてみた。

毎度お馴染みではあるが今回は特に「**奥っ込み所満載**」

(挿入の意味ではなくて)彼らの事を大まじめに描こうとするほど、笑える展開になってしまうのはなぜだろう。

こっちは至って真剣にどうやって濡れ場にもっていこうか考えているのに……。

もはや、前編の時点で剣心は新たな人生を歩み出していると思って読んで戴きたい。続きは「妄狂」のページで。

では今回も楽しんで貰えたら嬉しく思う。



……と、この挿入の描き方……。

体温を伝へて
押し寄せる

いつか懐えのある
温もり…

それはまるで
夢の中の
出来事のように…





突然
その日は

あの夜
から
数日後…



どうしたの
剣心？

朝からずっと
顔そむけ
ちやつて

剣心の記憶が
少しだけ
甦ったのだ



あんなに可愛く思っていたのに...

あの夜の事なら
忘れてって
言ったでしょ？

.....

自分でも
忘れたい
くらい

いくらなんでも
強引っていうか
女としてはしたない
っていうか...

ちよつと
焦り過ぎてた
と思う...

あんなに可愛く思っていたのに...

健気に
されても
忘れられる
事じゃないし！

妻のある
俺にとっては...

井原は
お前さん
にだけ...

あんなに可愛く思っていたのに...
あんなに可愛く思っていたのに...
あんなに可愛く思っていたのに...

轟通！

轟通！

くったくのない
笑顔が

眩しい...

(原田重吉画)

人斬りだった事は
自ら選んだ事...納得している

だが巴は今
どこで
どうしているのか...

それに薫さんは
俺と恋仲で
そして俺の過去は
何も知らないと...

それが真実なら

巴はこの事を...

蔑視

菜々子ちゃん
あんなに可愛らしい
女の子はほっと...

ガイ
ガイ
ガイ
ガイ
ガイ
ガイ



好き...

あなたが



彼女の温もりに
身を委ねたいと...



あの人に...

だが...
何も知らなかった
俺はあの晩

やはり
ここには
居られ
ない...



何故？

教えない



剣心の
刀？

ええ...
何処に
あるん
ですか？

刀渡したら
剣心この家
出て行く気
でしょ

だから
教えない

見抜かれ
ている…

…そんなに

私と一緒に
居るのが嫌なんだ…

そんな事
言っていない

だって私の事
避けてる…
あの晩の事は
謝ったのに

謝られて
忘れられるか…っ！

それは
Koushiwa…

……

そんなんじゃない
あの日の事は
俺にも非があるし
むしろ俺の意思で
そう望んだんだ！

だから薫さんが
自分を責める
事はない！

だったら…
どうして私を避けるの？

今朝
思い出し
たんだ！

俺には…
妻がいる……

え？

おぼろ気にだけど…
少しだけ昔の事を
思い出したんだ

思い出せなかった
とは言え…
俺は妻がいる身
だというのに

あなたと
一緒に暮らせる
はずが無い
だろう…？

だが俺があなたと
ここで暮らして
いたのなら

その人が今
どうしているのか
まだ思い出せない…

俺はあなたを
騙していたの
かもしれない…

剣心は
私を騙したり
していない…

嘘をついて
いるのは

私の方なのよ…



無意識に
隠した逆刃刀…

やっぱり
これは剣心に
返さなきゃね…



今の剣心と違って
巴さんは
生きています



心は…
彼女の手を
返さなきゃね…

あの夜の事はか
ついでに

ただの過ち…



もう夜風が
冷たいわ

風邪
引くわよ



剣心の
刀！

はい



これであなたの
心までは
引き止められない

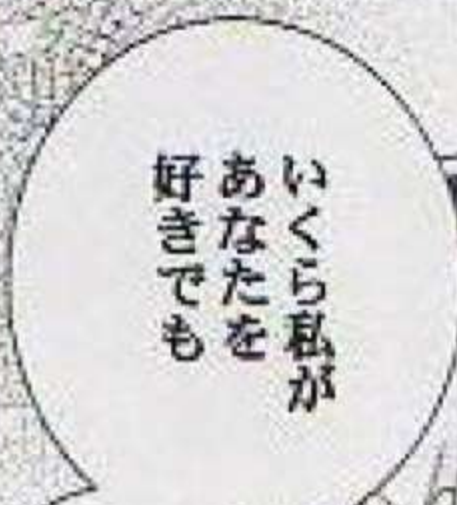


……



アツシ

私は
いない……



いくら私が
あなたを
好きでも



あなたの記憶に
私は居ないから



今の
俺じゃない



え……

それは薫さん
だって同じ
でしょう

あなたが必要として
いるのは十年後の
俺なんですよ





なんで
そんな事
言うの？



私の事なんて
なんとも思っ
てないくせに…

今の…
心の中にいる人は



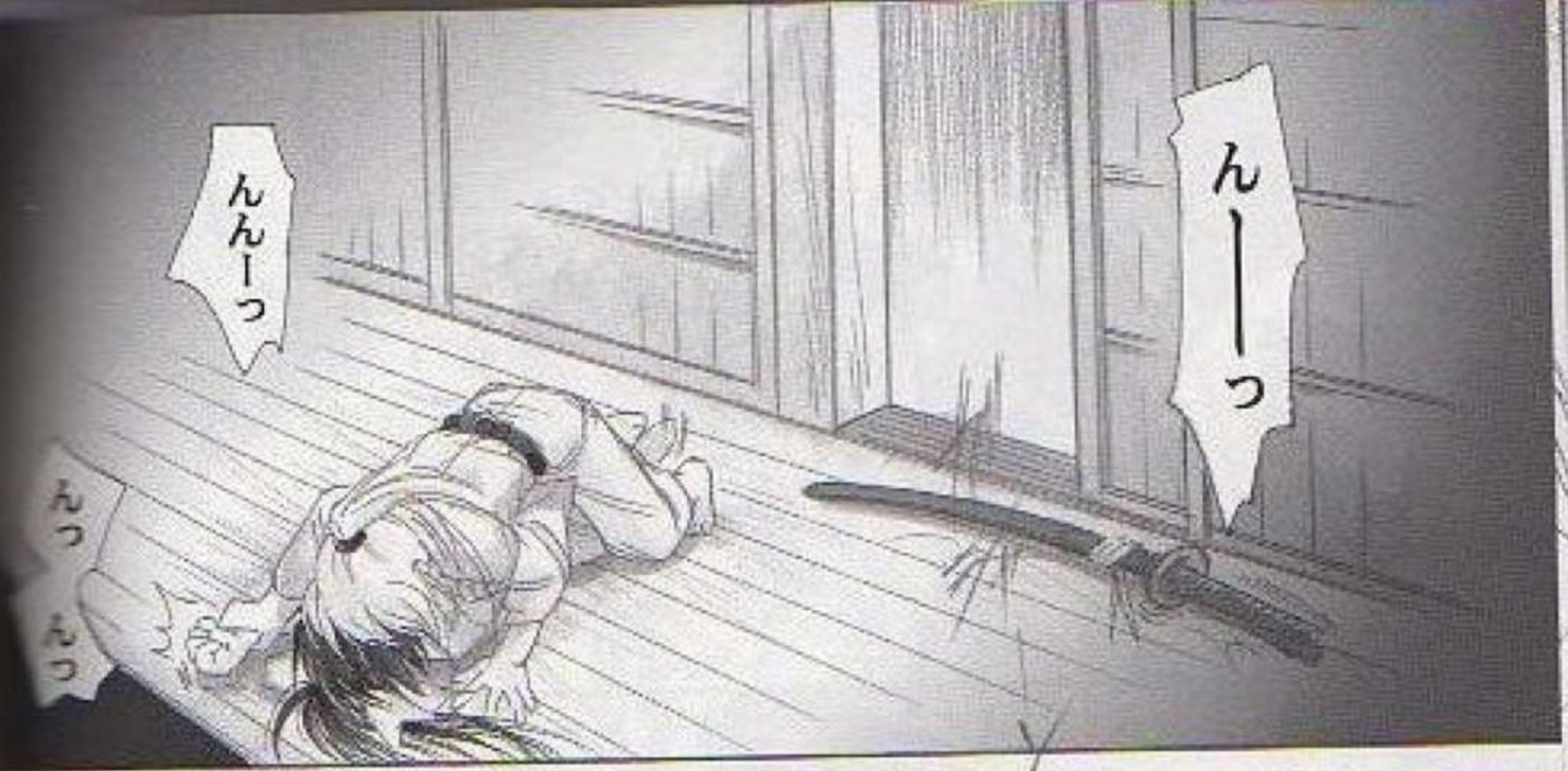
私じゃ
ないくせに！

今の
あなたには



私の事
抱けない
くせに！





んんっ

んんっ

んんっ



は



んんっ



んんっ



んんっ

私は…
今のあなたに

抱かれないのに…

は



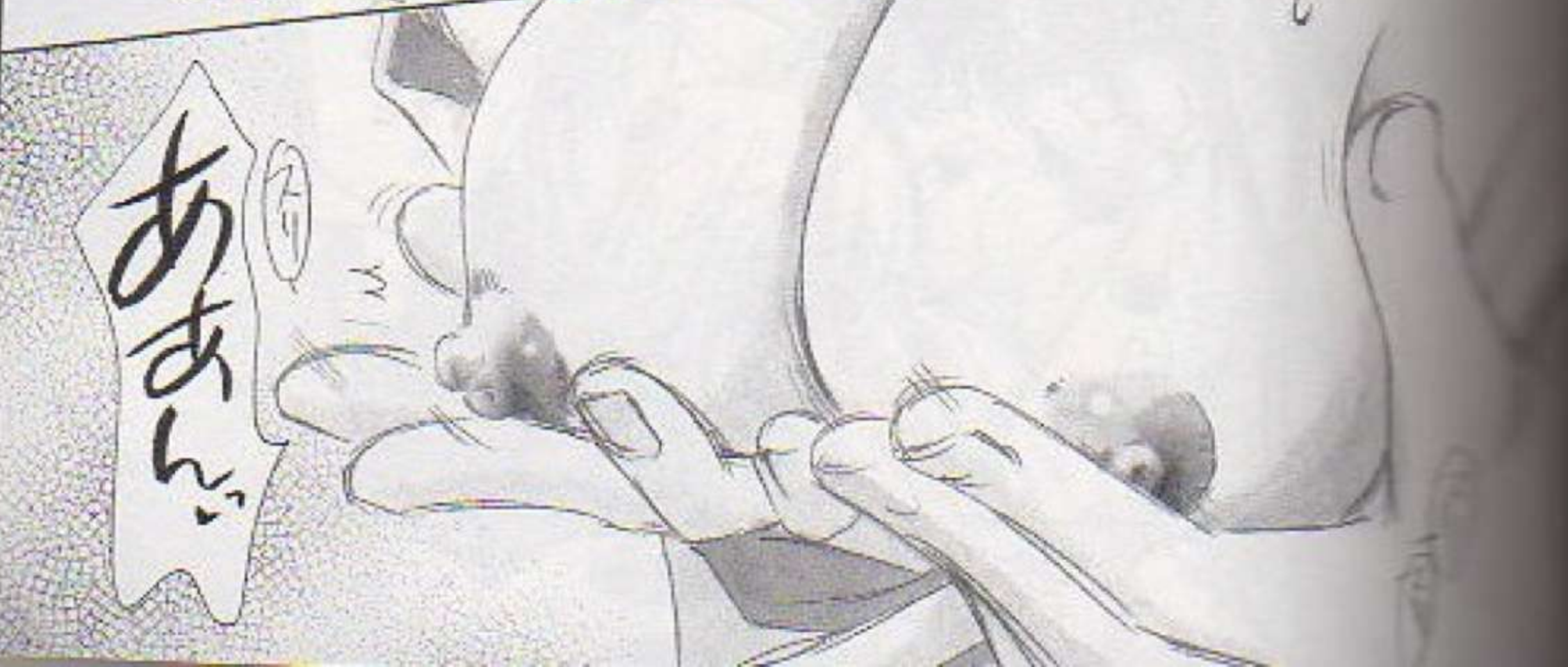
んんり

ん...



剣心...

は...
あ...



あまん



うわ

だから...
前よりも.....

剣心が...
私を...

抱えて...



うわ...

あ...



あ...
あ...

あ...

ね...
ね...

あ...
あ...



あ...

そんなに
したら...

も...
いきそ...
だめ...

あ...

あ...

あ...

あっ

んあっ…

あっ
入るうっ

ぬっ
ぬっ

そこっ…
だめっ
も…ホントに
イッ…イクっ

あーっ

あっ

あ
あ
あ

あーあーあー

あーあーあー

まだ
止めない…

あつ…
ダメっ待って
まだ動いちや
いやあつ

や…

あー



私…
も…

あ…

そこっ…
おかしく
なつちやうし

あーあーあー

はあ…

あの夜の…あなたの顔が…
頭から離れなかった…

剣…し…んっ

ざっざっ

んっ

ザッ
ザッ
ザッ

あ…

もっと…
…見たい…

俺に
抱か
れた
ら
い
つ
て
言
っ
た
の
に
?

あっ
うっ

はああん



感じさせたら...

あーん



あーん

私が感じると 剣心も感じるん でしょうか?

もっ...痺ん なくなってきた...

あ…

剣心っ

感じさやうい…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

剣心っ

私…感じ
すぎて…

あ…

あ…



あら

来るの

来るのお

だめっ

もっと
感じて...

記憶の中に
居ないはずの
あなたを...
俺の身体は知って
いたかのように
ずっと.....

ひん

ん...

許して

こうなる事を
望んでた...

蒸...

俺は...

あなたが...

あ

だから一緒に
居られないと
言っただんだ…

でも…
こうなったのは
私のせいよ…


これは
薫さんの
せいじゃ…

私…剣心に
嘘ついてる

私…
あなたの過去を
知っているの…

私が話さずに
済むなら
そうしたかった…
あなたを苦しめたく
なくて…

でもそれは私が
あなたの過去に
目を伏せているのと
同じかもしれないって
思ったの…



この世から
あなたと
生きて行きたいから

つらくても…
剣心の過去を
私が話さなきゃ…



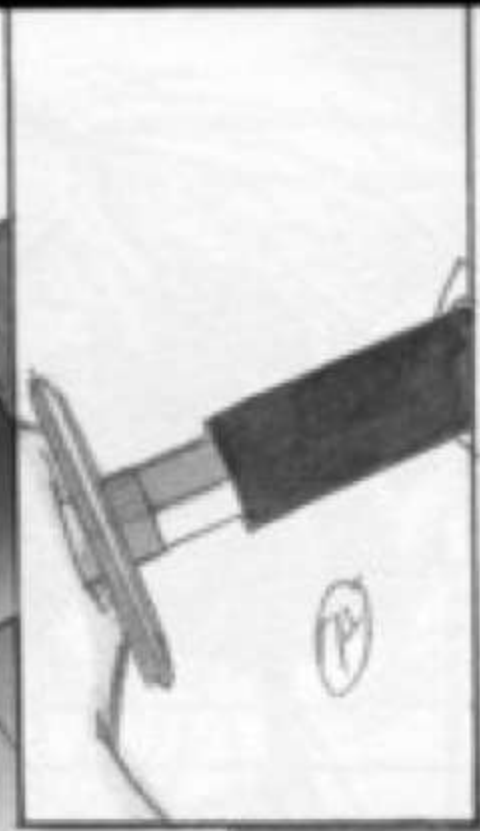
無さ…

生きて…

「出来れば語りたく
なかった」って…
出逢ったった頃
剣心が言った
その気持ち…

今少し
分かる
気がする…







ほら



.....

突然
訪れた

その目も
やほら



先に
起きちゃったの？

あれ...
剣心
どこ？



剣心！

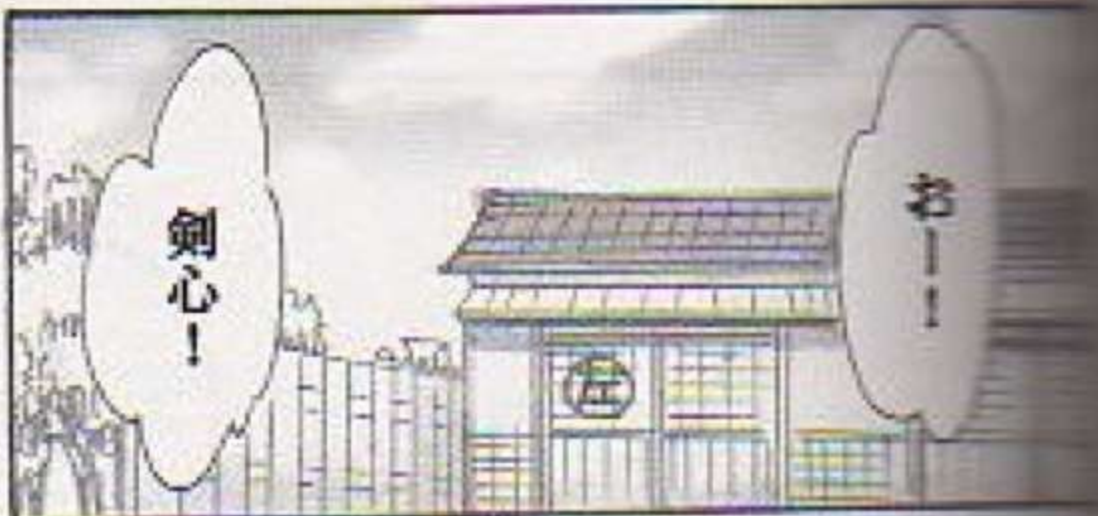
剣心？

なんで？

片なくなっ
ちやっただ
の？

…でも…
ま…

これがあるって事は
そのうち戻って
くるわよね…



おー！

剣心！



風邪治った
のかよ？

弥彦：
すまないが
暫く
ここに泊めて
ほしい…

薫殿には
内緒で…

お前がまた
病弱かー！
仲良くしろよー

そうじゃ
ないっ！！

もういっそ
記憶喪失にでも
なってしまいたい
でござるっー！

はあ？

幸か不幸か
記憶の全てを
思い出した
剣心は



それまでの出来手の
助すかしさのあまり
数日間の前に
現われる事は
無かった……

薫殿……



剣心!?

かぼん

おぼろげな記憶
おぼろげな記憶
おぼろげな記憶



ちなみに薫には
記憶が後退した
時の事は
憶えていなかった
事になっている
らしい……



後 談

今回の前後編モノ、いかがだったでしょうか。

少年剣心の反応も新鮮いいけど、最後のページを描きながら「やっぱり流浪人の剣心とのほうが薫とはじっくりくるなあ……」としみじみ感じた。薫殿もきつと同じ思いだったに違い無い(笑)。

振り返れば「チープな昼メロ・恋のカケヒキちつく・新春かくし芸大会ミニドラマ」みたいなものだったような気がする。でも意外と納得しつつ描けたつもりだ。

今回は半分デジタル加工という方法に切り替えたので仕上がりが楽しみでもある。未だに漫画はモノクロ水彩手塗りて描いている。もはや非効率的な手法のようでもある。

さて次回、というか来年はるろ剣十周年!ということ
で「兎剣シリーズ」でないものを考えている。(てゆうか
偶然だったりするが)現代モノパラレルダイジェスト……。

それではまた別の紙面でお会いしましょう。

和月先生ごめんなさい。